



RENGO - NAGASAKI
SASEBOCHIKYO

連合長崎 させぼ

NO. 58

連合長崎 佐世保地域協議会
〒857-0851 佐世保市稲荷町 2-2 8
TEL (0956) 20-0565/FAX (0956) 20-0567
発行日：2022年8月31日
発行責任者：古川 洋介

2023年度政策・制度要求書を佐世保市へ提出

8月30日(火)11:00より佐世保市役所において、「2023年度政策・制度に関する要求書」を榎本洋地協議長(全水道)より、「2023年度高齢・退職者に関わる政策・制度要請書」を久野長退連地協副会長(SSKOB会)よりそれぞれ、山口佐世保副市長へ手交、提出を行いました。

要求書に関しては、4月上旬に第1回政策委員会を開催し以降、5回の委員会を開催し、協議を重ね、取り纏め(委員会最終確認)を行い、佐世保地協第7回幹事会(拡大移動幹事会)において確認し佐世保市に提出する運びとなりました。

提出日当日は、地協から榎本議長、古川事務局長、長退連地協から久野副会長が出席し、佐世保地協が推薦する佐世保市議団(6名)を代表し、柴山賢一市議にも帯同いただきました。

要求内容について佐世保地協は、9分野25項目、長退連地協は、2分野14項目の要求を行いました。回答については、11月上旬に佐世保市より示される予定となります。

今年度の要求書を作成するにあたり、政策委員会の皆さんはもとより、各組織より様々なご助言を頂き、提出するに至りました。改めてご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。



榎本議長より佐世保市へ要求書の手交



久野副会長より佐世保市へ要請書の手交

被爆77年 連合平和行動in長崎開催



連合2022平和ナガサキ集会在長崎県立総合体育館メインアリーナで開催されました。今年は、昨年同様にコロナ禍の中ではありましたが、通常開催時の半分程度までの規模を回復し開催することができ、総勢 1,115 名の参加がありました。

集会では、主催者を代表し清水連合事務局長より挨拶がなされ、その後、来賓挨拶、共催・後援団体の紹介の後、「被爆者の訴え」として平和推進協会継承部の三瀬様より行われ、続いて『「ウクライナ危機」後の核軍縮』と題し長崎大学核兵器廃絶研究センター、センター長の吉田教授よりご講演をいただきました。その後、「平和アピール」採択後、「ピースフラッグリレー」、「エンディング(For the Peace of the world)」で集会を締めくくりました。また、当日は佐世保地協構成組織からも多くの皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございました。



【↑8月9日:ピースウォーク】

原爆慰霊碑や記念碑等、8カ所をめぐる行動として県外参加者310名が参加されました。



【←8月9日:万灯流し】

長崎市営松山陸上競技場および浦上川沿いに各構成組織の組合員が平和への祈りを込めて作成した万灯を配置(通常時は川に流す)
(万灯:連合約350個 慰霊奉賛会約200個)
県内外より298名が参加されました。



佐世保地区労福協第34回定期総会開催

7月19日(火)18:30より佐世保市労働福祉センターにおいて、「佐世保地区労福協第34回定期総会」が、73名出席のもと開催されました。

最初に、榎本副会長より、主催者を代表して挨拶がなされ、続いて、ご来賓よりそれぞれ祝辞を受けました。

その後、議長団に武富代議員(日教組)、金丸代議員(基幹労連)を選出し、以後の議事が進められ、報告事項として、2021年度経過報告、2021年度決算報告、会計監査報告、審議事項として第1号議案2022年度活動方針(案)、第2号議案2022年度予算(案)、第3号議案2022・23年度役員体制(案) それぞれ提案を行い承認されました。

また、総会スローガン確認後、榎本新会長の団結ガンバローを行い総会を終了しました。

また、総会当日は、菊永会長におかれましては、自組織の公務の為、欠席されましたが、これまで佐世保地区労福協の会長を十数年にわたり務めていただき、本総会をもって退任されることとなりました。

改めて、これまでの功績を称え感謝申し上げます。

刀個助 第34回定期



榎本 洋 新会長

【ご来賓の皆様】



長崎県労福協 事務局長 松村章嗣 様 佐世保市観光商工部 副部長 金子泰雄 様
社民党佐世保総支部 代表 堤典子 様 国民民主党長崎県連 副幹事長 小野原茂 様

【メッセージ・祝電】

立憲民主党長崎県連第4区総支部 総支部長 末次 精一 様 (衆議院議員)
国民民主党長崎県連 代表 西岡 秀子 様 (衆議院議員)

【2022-23年度の役員の方々の皆さん】



第26回参議院議員選挙長崎選挙区

～これまでのご支援に感謝申し上げます！～

今回の参議院議員選挙については、白川あゆみ候補者も前回の参院選以降の3年間、自分の足で、長崎県内をくまなく廻り支援拡大に努めてきたところですが、選挙戦以降は序盤から自民候補にリードを許す苦しい選挙戦となり、大変厳しい戦いを強いられたところです。

また、7月8日には、安部元首相の銃撃事件を受け、以降の選挙活動を自粛することとなり、選挙戦終盤の追い上げ行動も一部制限がなされたところです。そのような状況のなか、白川あゆみ候補を支援する各政党、各後援会はもとより「連合長崎佐世保地協」、「北松ブロック」、「長退連」の各構成組織・各単組・各単会の皆様方には組織の総力を挙げてお取組みを頂きましたが、「白川あゆみ」氏の当選を果たすことはできませんでした。

これまでのお取組みに対し、心からの敬意と感謝を申し上げます。

皆様、大変お疲れさまでした。



・ 6月22日 出陣式



・ 7月2日 佐世保地区総決起集会



・ 7月5日 北松地区決起集会

【第26回参議院議員選挙長崎県選挙区の結果】

- ◆ 山本 啓介 自民(47) 261,554 票 【当】
- ◆ 白川 あゆみ 立憲(42) 152,473 票
- ◆ 山田 真美 維新(50) 53,715 票
- ◆ 安江 綾子 共産(45) 26,281 票
- ◆ 尾形 綾子 諸派(47) 21,363 票
- ◆ 大熊 和人 N党(52) 6,969 票